

事業所名

ねいろあべのルーム

支援プログラム

更新日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		利用者さんのいろんな音、いろんな色をしっかりと受け止め、個性豊かな子どもたちが、どんな色を響かせ、どんな色を描いていくのか、ひとりひとりの思いを大切に、親御さんとともに無限の可能性を広げていく。					
支援方針		「好きなこと」「やりたいこと」をとことんやる！その時の達成感や喜びをしっかりと味わう！そして褒める、ほめる、褒める！ 運動・音楽・製作・触れ合いとさまざまな経験の中で、心のトレーニングを積み上げ、苦手を克服できるようにする。					
営業時間		11時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	持ち物の整理・洋服の着脱・トイレトレーニングなどの生活に必要な基本的技能を取得できるように支援し、来所時は手洗いうがいの実施、検温の記録をし健康管理を行っている。 おやつクッキングを通し、食への興味関心を高め、健康な体づくりと生活に困らないよう練習に取り組んでいる。					
	運動・感覚	日々の活動の中で微細・粗大運動をバランスよく取り入れ、運動機能の向上を支援している。バランスストーン・滑り台・マット・トンネル・牛乳パック椅子などを組み合わせてアスレチック遊びをしている。大きなトランポリンで跳んだり、鉄棒部分でぶら下がったりして体幹を鍛えている。ゲーム感覚で楽しく遊ぶ中で体を動かすことに対して積極的になれるようにする。					
	認知・行動	早め早めの言葉がけで次の行動への切り替えや、見通しを持って行動できるようにする。 個々の特性に合わせて、絵カードを使ったり、興味のある玩具を使って認知能力を高めるようにする。 心のバランスが乱れている時は、静養室に行きクールダウンをしてからフィードバックをし、感情の自己調整力がつくようにする。					
	言語 コミュニケーション	集団生活を通して、順番を守る、相手の気持ちを理解するなど他者との関わりをサポートする。 友だちやスタッフとの関わりの中で、挨拶言葉や感情を表す言葉、「ありがとう」「ごめんね」「かして」「いいよ」などが自然にできるように支援する。 好きな遊びが同じ友だち同士で関わりを持たせ、コミュニケーション能力の向上を支援する。					
	人間関係 社会性	グループ活動を通して他者と協力し合う力、ルールを守る力を育てる。 友だち間で問題が起きた時の適切な自己主張の方法を知らせたり、解決方法を子ども主体で考えるようにする。					
家族支援		いつでも相談できるような体制の提供（電話窓口・来所による相談） 支援担当者会議の実施			移行支援		入園・入学のライフステージの切り替えに向けた準備の支援
地域支援・地域連携		あべのカーニバル参加			職員の質の向上		定期的な研修への参加 ミーティング 個人的な面談
主な行事等		季節ごとの製作・お誕生会・水遊び・夏（秋）まつり・ハロウィンパーティー&おやつクッキング・クリスマスパーティー&おやつクッキング・節分					